

宇部工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	英語演習 I B - 1	
科目基礎情報							
科目番号	0005			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	電気工学科			対象学年	4		
開設期	前期			週時間数	前期:4		
教科書/教材	Level-Up Trainer for the TOEIC Test (Cengage Learning)						
担当教員	後川 知美						
到達目標							
TOEIC問題を通して文法と語彙の力を向上させ、コミュニケーション能力を身につける。 (1) TOEIC形式の問題を解くために必要な文法事項を理解できる。 (2) TOEIC形式の問題を解くために必要な語彙を理解できる。 (3) TOEIC (IP) において350点程度取得できる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		最低限の到達レベルの目安 (可)		未到達レベルの目安
評価項目1	TOEIC形式の問題を解くために必要な文法事項を80%以上理解できる。		TOEIC形式の問題を解くために必要な文法事項を70%程度理解できる。		TOEIC形式の問題を解くために必要な文法事項を60%程度理解できる。		TOEIC形式の問題を解くために必要な文法事項を理解できていない。
評価項目2	TOEIC形式の問題を解くために必要な語彙を80%以上理解できる。		TOEIC形式の問題を解くために必要な語彙を70%程度理解できる。		TOEIC形式の問題を解くために必要な語彙を60%程度理解できる。		TOEIC形式の問題を解くために必要な語彙を理解できていない。
評価項目3	TOEIC (IP)において目標点の80%以上取得できる。		TOEIC (IP)において目標点の70%程度取得できる。		TOEIC (IP)において目標点の60%程度取得できる。		TOEIC (IP)において目標点を取得できていない。
学科の到達目標項目との関係							
JABEE (f) 教育目標 (G) ②							
教育方法等							
概要	第1学期開講 TOEICは英語によるコミュニケーション能力を総合的に評価できるテストとして、海外で事業を展開する企業や、留学生の選抜、大学編入試験などで積極的に採用されています。また、TOEICでは、情報をすばやく的確に処理する能力が問われたり、ビジネス系の表現が多用されるといった特徴があります。TOEICの出題傾向や語彙レベルをリアルに再現したテキストの問題を解きながら、このような特徴をつかみましょう。これまで習ってきた文法の知識や語彙力も多いに活用しながら、さらなる英語力を身につけてください。						
授業の進め方・方法	【授業】 TOEICによく出る語句や文法事項を学習しながら各パートを解答し、出題傾向を学びます。さらにトレーニングを通して理解を深めます。 【定期テスト】 TOEIC形式の問題を中心に出题します。 【TOEIC (IP)】 350点取得を目指しましょう。日々の学習時間を確保し、予習復習を欠かさないようにしてください。10月に学内で実施されるIPテストは全員が受験します。テストの結果が後期成績に反映されます。						
注意点	積極的な課題発表姿勢を評価します。間違いを恐れずにチャレンジしてください。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	導入：授業の概要説明、学習の進め方、教材の使い方、評価基準と評価方法、TOEICについてなど。		シラバス内容を理解する。授業の概要と学習方法を知る。		
		2週	Unit 1 テスト形式を知る		写真問題の攻略ポイントを理解できる。応答問題の攻略ポイントを理解できる。		
		3週	Unit 1 テスト形式を知る		会話・説明文問題、短文穴埋め問題、長文穴埋め問題の攻略ポイントを理解できる。		
		4週	Unit 2 基本戦略①		人・物・風景のチェックポイントを理解できる。最初の音のかたまりをキャッチできる。		
		5週	Unit 2 基本戦略①		文法問題と語彙問題の違いを理解できる。		
		6週	Unit 3 基本戦略②		場面をイメージしながら聞くことができる。生活語彙を聞き取ることができる。		
		7週	小テスト		これまでの学習内容の定着状況を確認する。		
		8週	Unit 3 基本戦略②		時間配分を意識することができる。高難度の文書や設問を見抜くことができる。		
	2ndQ	9週	Unit 4 英文の基本構造を見抜く		進行形を聞き取ることができる。音トラップと連想トラップを理解できる。		
		10週	Unit 4 英文の基本構造を見抜く		全体を問う設問の特徴を理解できる。表・リスト・フォームを読むことができる。		
		11週	Unit 5 解答根拠の登場順		さまざまな主語を聞き取ることができる。Wh 疑問文を聞き取ることができる。		
		12週	Unit 5 解答根拠の登場順		名詞が正解の品詞問題の攻略ポイントを理解できる。チャット形式に馴染むことができる。		
		13週	Unit 6 正解の言い換えパターンを知る		前置詞を聞き取ることができる。Yes/ No 疑問文を聞き取ることができる。		
		14週	Unit 6 正解の言い換えパターンを知る		正解の言い換えパターンを理解できる。形容詞・副詞が正解の品詞問題の攻略ポイントを理解できる。		
		15週	期末試験		既習事項の定着状況を確認する。		
		16週	試験返却、解答解説、まとめ		理解度や得意・不得意を知る。全体を振り返り、取組方法の改善と今後の目標設定に役立てる。		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標				到達レベル	授業週
評価割合								
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計	
総合評価割合	50	20	0	10	0	20	100	
基礎的能力	50	20	0	10	0	20	100	
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0	
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0	